

みんなで住みよい街をつくりませんか 税金の納期内の納付にご協力ください

市 税や国民健康保険税などの税金は、社会保障・教育・ゴミ処理など、私たちが安心して健康に暮らすための財源として大切に使われています。多くの人は納期内に納付しています。しかし、納期内に納付しない一部の人に督促状などの送付を行わなければならない、本来行政サービスの提供に使われるはずだった税金をその経費に充てています。充実した市民サービスを提供するための財源が失われるため、滞納は私たちの生活に関わる大きな問題になっています。

写真：助丸区花菖蒲園のハナショウブ

☎ 収納課整理係 63-1353
☎ 徴収係 63-1362

納期内納付にご協力を！

納税は国民の義務であり、税金の納付は納期内の自主納付が原則です。納期限を過ぎても納付がない場合は、期限内に納付した人との公平性を保つため、本税のほかに銀行の預金金利よりもはるかに高い、年9.0%の延滞金がかかり、差し押えなどの滞納処分の対象にもなります。一人一人が意識を持って納期限を守ることが大切です。

市民サービスセンターのご案内

あらおシティモール2階の市民サービスセンターでは土曜・日曜・祝日も午前10時30分～午後7時まで納付できます。納付書（使用期限内の督促状を含む）をご持参ください。

※納期限を過ぎた納付書は収納課だけで取り扱いします。

納期限をメールでお知らせします

税の納期限3日前までに登録いただいたパソコンや携帯電話に電子メールで納期限日（口座振替日）をお知らせします。メール配信サービス（愛情ねっと）は無料ですが、メールの受信やインターネット接続などに伴う費用は、利用者の負担になります。次のアドレスから接続し、ご登録ください。

【パソコン用】

<http://ai-jo.net/Community/index.php>



【携帯電話用】

<http://ai-jo.net/Community/mobile/>



忙しい人は口座振替のご利用を

一度手続きすれば毎年継続されます。忙しい人に最適です。下記金融機関窓口で申し込みできます。納税通知書、預貯金通帳、印鑑（金融機関お届け印）をお持ちになって、お手続きください。

・口座振替できる市税など
市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税
※市内の金融機関には申請書を設置しています。市外で手続きをする人は、市役所に取りに来るか、郵送しますのでご連絡ください。



取扱金融機関	
肥後銀行	福岡銀行
熊本銀行	西日本シティ銀行
熊本中央信用金庫	九州労働金庫
大牟田柳川信用金庫	玉名農業協同組合
三井住友銀行	ゆうちょ銀行（郵便局）

納税が難しい人は早めに相談を！

災害や盗難、本人や家族の病気、事業の休廃止、失業、多重債務などで納付が難しい場合は、早めに収納課へご相談ください。



あなたにも知ってほしい ～公共施設の「今」と「これから」～

6月号では、本市の公共施設の現況や今後の課題などについて説明しました。

今回は、荒尾市公共施設等総合管理計画の概要について説明します。

☎ 公共施設マネジメント推進室
☎ 63-1273

文化センター全景

公共施設等総合管理計画を策定しました

今後40年間で本市の総人口が約3割減少すると見込まれる中、老朽化が進む公共施設などについて計画的に維持管理、更新などをしていく必要があります。

行政サービスの確保と健全な財政運営の両立を実現するため、公共施設などの更新・集約化・複合化・長寿命化など、今後の総合的なあり方についての方向性を定める目的で、荒尾市公共施設等総合管理計画をことし3月に策定しました。本計画は、平成29～47年度の19年間を計画期間とし、次の3点を公共施設などの適正管理のための基本方針としています。



基本方針 1 「トータルコストの適正化」

建替えや改修、日常の維持管理など、公共施設などに係る全ての経費を適正化し、将来世代に過度の負債を残すことがないように、公共施設等に関する財政負担を抑制します。



基本方針 2 「施設機能の適正化」

サービス提供に必要な安全性や機能を確保しつつ、快適で効率的な施設機能の提供を図ります。

基本方針 3 「サービスの適正化」

公共施設などは市民にとって必要なサービスを提供するための手段であるという認識の下、市民に最適なサービスのあり方や改善策を検討し、安定的かつ魅力的なサービスの提供を図ります。

数値目標

本計画を確実なものにするため、3つの基本方針を踏まえて、以下の目標に向けて取り組んでいきます。

◎計画期間内に施設総量の15%の削減を図る。将来的には、今後40年間で施設総量の30%の削減を目指す。

◎長寿命化を図り更新期間を60年から70年へと延長する。

◎総量抑制や長寿命化、本市の物価水準等を考慮した更新単価の見直しにより、40年間の更新費用見込み（建物）を、当初試算の938.0億円から509.8億円に圧縮する。

今後の本計画の推進にご理解とご協力をお願いします。

計画の詳細については、市ホームページ（<http://www.city.arao.lg.jp/q/aview/520/6486.html>）をご覧ください。

市ホームページ▶
計画詳細の内容を
閲覧できます

